

●18日 やましろ里山の会結成20周年記念事業 木津川の草花写真集」の編集発行について打合せを行う

出席者は光田重幸顧問、上島裕顧問、近藤和夫さんでした。約3年間で植物写真撮影総数は1983枚となりました。これまでの規模とは桁外れの撮影量となりました。これから編集の大作業が始まります。そして最も大事な作業は花と植物の同定です。前回(10周年記念時)「木津川の草花」の用紙はA5でしたが、今回はA4で計画しています。これで1000頁となると相当重くなりますので、2分冊化も考えなければなりません。出来上がると記録誌となり携帯するのはとても不可能です。印刷段階で紙質を低下して軽量化を図ると、ねらいである精密な写真という点では随分と低下を覚悟しなければなりません。なかなか難しい選択が迫られます。それでも現在の木津川の生育する植物の大半が撮影できているのですから立派な作品成果となります。これが完成しますと木津川沿川各自治体で植物講演会を順次開催する予定です。ご期待ください。

●20日10時から中央公民館で行われた京田辺市環境フェスタに参加

今年の夏に開催した7回の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」と竹蛇籠での生き物調べの二つのイベント写真を展示しました。フェスタへの出展者や参加は市内の企業や公共団体が中心で、パートナーシップの会員団体以外からの参加はあまり見られませんでした。京田辺市での環境問題への関心は他市町村と比較すると市民活動団体の参加では盛り上がり少し低調のように見受けられます。参加者対象者を小学生と幼児に絞っている関係か、随分と盛り上がりという点では、いま一步という感じでした。京田辺市は自然環境に大変恵まれて豊かな街なので、工夫が必要なのではないでしょうか。

●20日 第4回カヌーでつなぐ「琵琶湖・淀川流域圏」～1450万人-水のえん～の初日に19艇が26人の参加

木津川は過去3回と比べて4回目の今年は最低の水流でした。水量があると流れに乗ってすいすいとかかなり体力的に進むのですが今年はそのいきませんでした。かなりバトルを漕ぐことになり体力的に厳しいことになりました。その中で今回は、2歳4歳の幼児二人がそれぞれお母さんと一緒に下ってくれました。昼食の開き橋でもゴールの近鉄鉄橋でも疲れた様子もなく元気に大きな声を出して頼もしい幼児二人でした。木津川では幼児にも安全にカヌーで川下りができると証明をしてくれました。笠置で遊びカヌーの改良を進めた京都大学の高木公三郎教授は、戦前ドイツで母子が池で一日中ボートでくつろぐ二人を見て、いずれ日本でもこうした楽しみができる日が来ることを夢見て、ボートを購入して帰国し、そして重たいボートの軽量化改良に力を尽くしたと藤田カヌーの前社長の藤田さんが語っています。高木さんもきっと喜んでおられるのではないのでしょうか。先生の功績をたたえ、「日本で遊びカヌー発祥の地」記念碑を建立した一人として感慨深い一日となりました。

●20日の午後に玉ねぎを500本植え付け 昨年は800本を植え付けましたが、大きな玉に成長しませんでした。今年は大きくなるよう祈って植え付けました。また22日には芳川さんの600本の苗の提供をいただきました。合計1100本を植え付けたこととなります。

●12月10・11日にパレスプラザで行われる京都府環境フェスタでの展示場所の決定が届く。またミニステージでの連続4年の活動発表と時間が決定しました。今回は一日1回、二日で2

回の発表時間が配分されました。10日は13時から、11日は15時から発表します。2回の発表で同じ内容の繰り返しでは工夫が足りないのではないかとの意見で、一つは「竹蛇籠の取組み」を中心にして、二つ目は田中グループと福井グループによる「川ガキの発表」を予定して、時間が余るようでしたら、里山の会の活動紹介を行うなど、いいチャンスなので大いに工夫を凝らして出演します。

●カヌーで大阪まで下ろうの第2日目のスタート 26日午前9時30分です。スタートは近鉄鉄橋から三川合流を経てゴールは寝屋川の点野の船着き場までの20kmを下ります。二日目の取組みで木津川は松尾芭蕉の仮装で楽しめます。応援と見送りにお越しく下さい。宇治川では三栖閘門がスタートで一寸法師の仮装を準備しています。桂川では淀君の仮装で下ります。それぞれには伴走カヌーが付きます。それぞれスタートは9時30分を予定しています。そして昼食予定地の三川合流で合流して15:時に点野にゴールする予定です。点野でのお出迎えよろしくお願ひします。もう一つ三川合流の木津川でカヌー教室を開催します約1時間を取っています。その後野鳥観察や植物観察の自然探検も同時並行で行います。いずれも無料ですので、気軽にお越しく下さい。先着順で乗船体験となります。満員と予定時間の関係でお断りの場合はご容赦ください。

●26日の15:00から大阪工業大学でイタセンパラのシンポジウムが開催されます。花博記念公園からのご案内が届きました。

●12月4日には大阪市立国際会館で生物多様性協同ホールの開催されます。大阪自然史博物館から案内が届きました。

●早くも師走の季節を迎えます 12月の予定をお知らせします。

12月3日 ミカン農家ボランティア 集合 JR 多賀駅 9時半

12月4日 夏原クランドの活動交流発表会

草津市立街づくりセンター13:00～13:30 生物多様性協同ホール

12月5日 13:00 第4回自然保全推進会議

12月10・11日 京都府環境フェスタ 9:30～ 伏見区竹田パルスプラザ

12月17日 9:30 オオムラサキ観察会

12月23日 9:30 ハイキングコースの年末清掃

12月24日 9:30 里山農園の年末清掃

12月25日 9:30 年末餅つきと注連縄づくり

12月29日 事務所すす払い 仕事納め 今年の十大ニュース発表 忘年会 15:00～16:00

●里山農園に大型のイノシシの侵入 昨年までは小さな弱点を見つけて入っていましたが、補修すると防止できました。今年はイノシシの学習能力も上がって大きな穴が発見されます。畑の中では野菜などの栽培場所には目もくれず、耕していない放置された場所を選んで耕運機で耕したような状態になっています。現在のところ実被害は見られないのですが、このまま放置するわけにはいきません。防護網のさらな強化策を行う必要があります。方法や実施日を検討中です。防護柵設置の内側と外側の草刈りをかなりの幅で実施することになると思います。その節にはご協力をお願いいたします。